

平成30年度第3回浦安市行政改革推進委員会 会議録

○日 時／平成 31 年 1 月 28 日(月) 14:00～15:00

○場 所／市役所4階 S5会議室

○出席者／寺村委員、深谷委員、李委員、松本委員、岩田委員、宮川委員、男全委員

○事務局／及川総務部長、橋野総務部次長、佐藤総務課長、斎藤行政改革推進室長、
久木主任主事、平石主事

○議 題／浦安市行政改革大綱(案)について

○報 告／平成 30 年度事業点検結果について

1. 開会

2. 議題 浦安市行政改革大綱(案)について

行政改革大綱(案)策定の背景、大綱案の内容について事務局より説明を行った後、内容について意見を伺った。

委 員： 本大綱が行政改革の中長期的な方向性と注力する観点を示すものであることは理解できた。オープンガメントというのが海外、国内でも進んでいる。そのことについて、透明性・参加・協働の観点からどのように考えているか。

事務局： 改革の基本方針の5番「地域資源」のところで、公共私の新しい形を示している。そこに参加・協働が含まれると考えている。透明性については、明記していない。

委 員： 今後少子高齢化に伴い、介護人材が減る中で人的資源の確保をどのように考えるのか。海外では、介護に携わった時間を「貯金」し、将来自身が介護される立場になったときにその「時間」を使うという考え方がある。参考にしてほしい。

事務局： 浦安では少子化はあまり進まないという認識で「少子化」の文言は外している。ロボティクスの活用なども含めて、人材不足の確保の大きな方向性を考えている。いただいた意見も踏まえて、具体的なところは個別の計画で検討していく。

委 員： 巻末の人口のデータに関して、以前確認したデータでは高齢化率の推計はもっと高かったように思うがなぜか。

事務局： 最新の人口データを基礎に算出したものである。詳細の条件の違いは御覧になったデータが分からないので、すぐにはお答えできない。

委員： 介護について、市民が主体的に加われる内容が、具体的な話になった時には入るといい。誰でも介護に参加できるといいと思う。

委員： 介護の件で、病院や特別養護老人ホームは少なくなり、在宅介護という方向に進んでいる。在宅で介護するということは同居者の負担が重くなるということ。市として、そのような人への助成があるか。

事務局： 各部門の個別の内容は本大綱には記載していないが、この大綱の大きな方向を受けて、各計画ができるもの考えている。

上記、質疑後に事務局から今後の大綱策定のスケジュール及び、浦安市におけるパブリックコメント制度について説明を行った。また、巻末に掲載予定の用語解説に関して、どの用語に解説が必要となるか、意見を伺った。

3. 報告 平成30年度事業点検結果について

事務局より平成30年度事務事業点検の結果について、廃止及び見直しの上継続する事業を中心に報告を行った。

4. 閉会

(15時終了)